

# 「笠郷地域創生自治町民会議」だより

総会・役員会、健康・福祉部会

笠郷地域創生自治町民会議会長 細川 一

## 1. 「健康フェア」を開催しました。

健康・福祉部会

保健センター・包括支援センター・笠郷地域創生自治町民会議が主催して、笠郷地区では初めて「健康フェア」を(5月7日(日)13時~18時の時間で開催しました。当日はあいにくの雨にもかかわらず

### <健康チェックコーナー>

1. ロコモ度チェック、ロコモ体操
2. 握力測定
3. 骨の健康度測定(骨年齢)
4. 血管年齢測定
5. 脳年齢測定

### <健康に役立つ展示コーナー>

6. クイズ(生活習慣病・がん予防)
7. クイズ(食生活改善)



らず、約90人の皆さんが参加され7つのコーナーで自分の健康度合いを測定されました。数値が年齢でも表示され、若いと思っても自分の年齢に近い人がほとんどでした。子どもさんには塗り絵コーナーで色鉛筆セットを、大人の方には町ごみ袋をプレゼントしました。脳年齢コーナーでは最大30分待ちになるほどで、認知症防止には気をつけておられることがうかがえました。

## 2. 令和5年度主要事業計画

役員会、総会

部会	事業名	令和5年度主要事業計画概要
総務	公民館行事の復活	夏祭り(8/16(水))、町民運動会(10/8(日))、公民館祭(2/25(日))、企画実行委員会(7/1(土)、12/2(土))
	公民館行事(育成会主催)	3世代交流ベタンク(6/10(土))、壁新聞コンクール(9月)、花壇コンクール(8月)、夏休みラジオ体操
安全・安心	情報伝達訓練	7月30日(日)早朝(笠郷全地区)、(要)要援護者への優先情報伝達が可能であれば含める)
	防災訓練	日程未定、(昨年度参加60名・内容:避難所設営、AED・蘇生法、避難カード、避難動画)
教育・文化・商工	通学路危険マップ更新	各団体からの危険情報を書き込んだので、再度各団体集まり確認してもらい、完成させ全戸配布する。危険個所には対策が可能であれば対策してゆきたい。
	食用ひょうたん栽培	笠郷地区のひょうたん栽培協力者に栽培依頼。今年は大垣養老高校内で瓢箪加工する計画。6月末から9月初旬まで、週2回瓢箪果実を漬物用原料、工芸品原材料量として納入。
	通学路危険マップ	安全・安心部会内容と同じ
環境・美化	スクールサポーター支援	笠郷小学校運営協議会の方針に従い協力する。(草刈り、雑木伐採協力等) 東部中学校運営協議会の方針に従い、東部中校下と協議を含めて検討してゆく。
	ごみ収集所用看板設置	大型ごみ収集庫用ルール看板は48カ所設置済み完了。今年度は小型ごみ収集庫用看板の製作設置する。
	笠郷地区クリーンの日	笠郷地区通学路クリーン活動計画:11月5日(日)8:00~ 参加者は申し込み名簿に記入。
健康・福祉	スクールサポーター支援	教育・文化・商工部会内容と同じ
	3世代交流会の実施	コロナ禍以前のように地域の高齢者が船附こども園、下笠保育園に訪問し、一緒に遊ぶ。 社協笠郷支部主催3世代交流ベタンク大会(10/22(土))
	福祉推進員制度	2年間笠郷地区をモデルケースとして本年度は13~14名体制(民生委員の補佐役)で行う。見守り活動では、各種団体とのネットワーク化を進める。いきいきサロンを立ち上げコミュニケーションの場を提供。
	敬老会(9/18(月))	敬老会開催(内容は企画実行委員会が立案、準備)

### 令和5年度 笠郷地域創生自治町民会議 収支予算計画書

大項目	中項目	収入予算額	摘要	大項目	中項目	支出予算額	摘要
交付金	町交付金	4,509,000		人件費		1,915,000	事務局長+事務局員(2.1名)
自己資金	笠郷地域振興費	1,320,000	1,320戸	事務費		650,000	消耗品、事務通信費、保険料、手当等、
	昨年度繰越金	402,236		会議費		30,000	諸会議お茶代
	雑入	170,000	利息等	事業費	総務部会費	2,280,000	推進員、公民館活動、総務部会費等
	積立金取崩し	1,100,000			安全・安心部会費	1,000,000	通学路危険マップ、備品整備、防災訓練、伝達訓練
	自己資金計	2,992,236			環境・美化部会費	250,000	クリーン活動、看板点検、スクールサポーター支援等
合計(人件費除く)	5,586,236		健康・福祉部会費		300,000	3世代交流、見守り、福祉委員制度、敬老会等	
総合計		7,501,236		教・文・商工部会費	550,000	体育委事業35万円、瓢箪苗育成、通学路危険map	
				事業費計		4,380,000	
				予備費		526,236	
				総合計		7,501,236	

令和5年度はコロナ時の積立金を含めて、コロナ前の事業復活を目指し、750万円の予算で執行します。